

渡航としての必要ワクチンは[成人の一覧](#)に従って接種する。

日本での定期接種をまず行う。

定期接種で接種済みのワクチンは以下の記載を参考に追加接種する。

渡航先の園、学校によっても必要ワクチンが違うので確認する。

英語の接種証明を持参した方がいい。(学校などで指定のフォームがあればそれに記載。なければ[当センターのもの](#)で作成)

### 小児期ワクチン

**DPT・DT (三種混合、二種混合)** : 年齢相当の接種が済んでいればいい。

留学の場合、10年以内のDPT又はDT追加が必要

(国によっては小学校に入る前にDPTの追加が必要、現地でも可)

**BCG:** 米国ではBCG既接種者はツベルクリン反応の証明が必要となることが多い。

ツベルクリン陽性の場合結核と診断され予防内服などの対象になるなどのトラブルを避けるためBCG既接種の記載をする。

ツベルクリン陽性の時は胸部X-Pも撮って異常なしの証明が必要な場合もある。

**ポリオ:** 生ポリオ2回の場合、国によって生ポリオ3回目の接種が必要。

不活化ポリオは4回以上の接種が必要。

**ヒブ・小児肺炎球菌:** 年齢相当の接種を勧める

**麻疹・風疹・おたふく・水痘:** 1歳以上なら接種が必要

国と年齢によって2回接種

または抗体検査で陽性証明が必要。

**日本脳炎:** 現地で必要なくても帰国後接種時期(6ヶ月から7歳半まで)を過ぎるようなら、接種しておく。

**A型肝炎:** 3歳以上(希望すれば1歳以上)で接種可能。

**B型肝炎:** 定期接種になっている国が多く、接種が必要。

**狂犬病:** 現地で接種できるなら、接種しなくても可。

**インフルエンザ:** 接種できる時期なら、接種を勧める。

その他、ロタワクチン、子宮頸がんワクチンなども可能な時期なら接種。

だいたいクリニック予防接種センター